

令和8年度 スーパーサイエンスハイスクール文化講演会

令和8年6月吉日
SSH企画部

講師 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 准教授 多田 将 先生

日時 令和8年7月1日(水) 13:00~15:00

場所 一宮高校 第一体育館

当日の日程

- 13:00~13:05 開会行事(校長挨拶、講師紹介)
- 13:05~14:25 ご講演「見えないものを理解する」(80分)
- 14:25~14:55 質疑応答(30分)
- 14:55~15:00 閉会行事(お礼の言葉等)
- 15:20~16:00 懇談会(希望生徒のみ)



講師プロフィール

1970年、大阪府生まれ。京都大学理学研究科博士課程修了。京都大学化学研究所非常勤講師を経て、現在、高エネルギー加速器研究機構・素粒子原子核研究所、准教授。

著書に『すごい実験』『すごい宇宙講義』『宇宙のはじまり』『ニュートリノ』(イースト・プレス)『放射線について考えよう』『核兵器』(明幸堂)『ミサイルはなぜ当たるのか』『ドローン戦入門』(イカロス出版)などがある。

世界最強の加速器J-PARC(茨城県那珂郡東海村)のニュートリノビームラインの設計・建設を行い、それを用いて世界最先端の実験を行う一方、「兵器」を純粋に物理学の側面から解明したり、各種雑誌の連載やテレビ出演などを通じてさまざまな面から科学の魅力を発信するなど、多岐にわたる活動をされている。

演題『見えないものを理解する』

一宮高校のみなさん、初めまして。多田と申します。

僕の専門は素粒子物理学と言って、この世でもっとも小さなものを扱う分野です。当然ながら、人間の眼では見えない大きさのものです。というよりも、実のところ、人間の眼で見える範囲というのは、実はとても狭いものなのです。自然のほとんどのものを、人間は直接見ることはできません。しかし人類はとても偉大で、自分たちが直接見るできないものでも、なんらかの方法で理解する、その方法を築き上げてきました。それが科学というものです。そして、その「見えないものを理解する」科学によって、人類はこんなにも繁栄してきたのです。自分の眼で見えないものは「わからないもの」として敬遠する人もいますが、そんな人でも、本人の気づかぬままに、科学の恩恵にはどっぷり与っています。

本日の講演では、「眼に見えないもの」の究極とも言うべき僕の専門分野を通して、「見えないものをいかに理解していくのか」といった、科学の基礎を感じ取っていただければ幸いです。